

お買い上げいただきありがとうございます。

## お使いになる前にお読みください

本書では、HDR-AZ1本体のみで可能な操作方法を説明しています。本機をご活用いただくには、専用アプリケーションPlayMemories Mobileに対応するスマートフォンやタブレット、または別売のライブビューリモコンが必要です。

- PlayMemories Mobile のインストール／操作のしかた  
下記のWebサイトをご覧ください。  
http://www.sony.net/pmm/  
本書の「スマートフォンと接続する」もあわせてご覧ください。



- ライブビューリモコンRM-LVR1(別売)の操作のしかた  
RM-LVR1に付属の取扱説明書またはハンドブック(PDF)をご覧ください。  
取扱説明書はWebサイト上でも公開されています。



- サポートページにアクセスする。  
http://www.sony.jp/support/actioncam/
- 取扱説明書ダウンロードページから[RM-LVR1]を探してダウンロードする。

## 同梱品を確かめる

本機 (1)  
マイクロUSBケーブル (1)  
リチャージャブルバッテリーパック (NP-BY1) (1)  
ウォータープルーフケース (SPK-AZ1) (1)  
装着バックル (1)  
平面用接着マウント (1)  
曲面用接着マウント (1)  
三脚アダプター (1)  
印刷物一式

- XAVC S形式での動画撮影時は、Class10以上のSDXCカードをお使いください。



HDR-AZ1

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

**警告** **安全のために** →裏面もあわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

### 「安全のために」の注意事項を守る

#### 定期的 に点検する

1年に1度は、ケーブル端子にほこりがたまっていないか、ケーブル類に傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

#### 故障したら使わない

本機の動作がおかしくなったり、破損していることに気がいたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

#### 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら  
煙が出たら

- 電源を切る
- 電池を外す
- 相談窓口につながる

裏面に相談窓口の連絡先があります。

#### 危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。



4 5 4 7 9 1 6 0 1 0

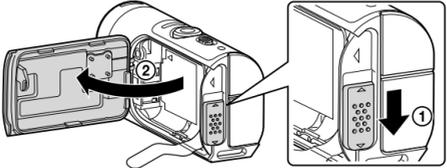
© 2014 Sony Corporation Printed in China

### 準備する

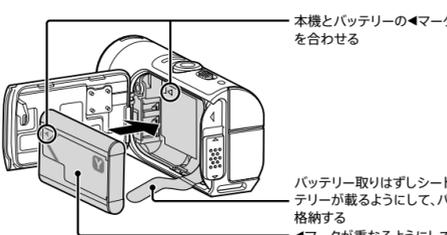
## 充電する

### 1 カバーを開ける。

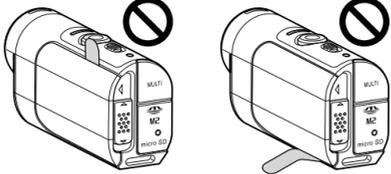
- ロックレバーをOPENの方向にずらす。
- ◀マークからカバーを開ける。



### 2 バッテリーを取り付ける。



カバーをしっかり閉め、ロックレバーをLOCKの方向にずらします。ロックレバー部に黄色いマークが見えなくなること、カバーがしっかり閉められることを確認してください。カバー内にバッテリー取りはずしシートや砂などの異物を挟み込むと、防水パッキンが傷つき、浸水の原因になります。

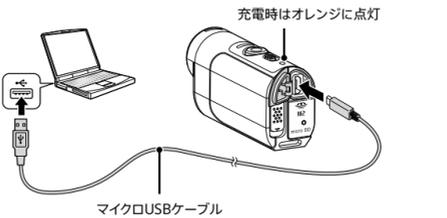


カバーを閉じるには、手順1と逆の操作を行います。バッテリーを取りはずすには、バッテリー取りはずしシートをひっぱります。バッテリー取りはずしシートがバッテリーの下にもぐり込んだ状態で格納すると、バッテリーが取りはずせないことがあります。また、水漏れの原因にもなります。

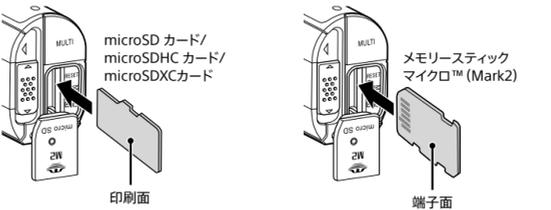
### 3 本機の電源がOFFになっていることを確認する。

電源を切るには、ON/OFF(電源)ボタンを押して、POWERランプが消えたことを確認します。

### 4 本機と、起動しているパソコンをマイクロUSB ケーブル(付属)で接続する。



## メモリーカードを入れる



メモリーカードの裏表に注意して正しく挿入してください。  
※ XAVC S形式での動画撮影時は、Class10以上のSDXCカードをお使いください。

#### ① ご注意

- お使いになる際には、端子カバー、メモリーカードカバー、バッテリーカバーがきちんと閉められていること、異物などの挟み込みがないことを確認してください。閉められていない状態や異物などを挟み込んだ状態で使うと、水漏れの原因となります。

## 撮る

使用用途にあわせて必要なアクセサリを取り付けてください。同梱のアクセサリの詳細については、下記をご覧ください。  
http://rd1.sony.net/help/cam/1415/ja/



### 1 ON/OFF(電源) ボタンを押して、本機の電源を入れる。

### 2 REC HOLDスイッチをスライドして、REC HOLDを解除する。

REC HOLDが解除されている場合は、手順3に進みます。

### 3 RECボタンを押して撮影を開始する。

#### 撮影をやめるには

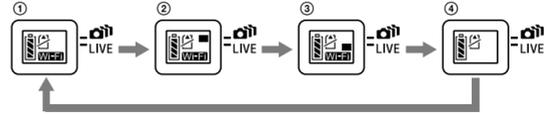
もう一度RECボタンを押してください。

#### ① ご注意

- 本機での画像の再生はできません。画像を再生するには、専用アプリケーションPlayMemories Mobileに対応するスマートフォンやタブレットが必要です。
- 音声は再生されません。
- 長時間、連続して撮影し続けると本機の温度が上昇し、撮影が自動的に止まることがあります。
- お買い上げ時は、撮影モードが動画モードに設定されています。静止画/インターバル静止画を記録する場合には、以下を使って撮影モードを変更してください。詳しい操作方法については、Webサイトに公開されている取扱説明書を参照ください。  
- 別売のライブビューリモコンRM-LVR1(ソフトウェアバージョン2.00以上)  
- PlayMemories Mobileがインストールされたスマートフォン

## Wi-Fi設定について

Wi-Fiボタンを押すと、別売のライブビューリモコンやスマートフォンと接続するときの本機のWi-Fi設定を切り換えることができます。  
• 本機のWi-Fiボタンを押すと、下記のように表示パネルの画面表示が切り替わります。使用できる機能のアイコンが表示されます。



- Wi-FiをONにする(シングル接続:初期状態)
- 複数の本機と接続する(マルチ接続)
- ライブストリーミングを実行する(ライブ接続)
- Wi-FiをOFFにする(OFF)

### 別売のライブビューリモコンと接続する

ライブビューリモコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

## 本機1台と別売のライブビューリモコンを接続する(シングル接続)

### 1 本機の電源を入れ、Wi-Fi設定をシングル接続(初期状態)にする。

### 2 ライブビューリモコンの電源を入れ、リモコンの接続設定(接続モード)をシングル接続にする。

### 3 ライブビューリモコンで、本機のSSIDを選ぶ。

操作について詳しくは、ライブビューリモコンの取扱説明書をご覧ください。

### 4 本機から音が鳴ったら、本機のWi-Fiボタンを長押しする。

再度本機から音が鳴り、ライブビューリモコンの液晶モニターにカメラ画像が表示され、ライブビューリモコンのRECランプが青く点灯します。

#### ① ご注意

- ライブビューリモコンには、本機のSSIDから「DIRECT-」を省略した文字列が表示されます。
- SSIDが表示されない場合は、本機のWi-Fi設定がシングル接続になっているか確認してください。

## 複数の本機(最大5台まで)と別売のライブビューリモコンを接続する(マルチ接続)

### 1 本機の電源を入れ、Wi-Fi設定をマルチ接続にする。

### 2 ライブビューリモコンの電源を入れる。

### 3 ライブビューリモコンの接続設定(接続モード)をマルチ接続にする。

### 4 ライブビューリモコンで、カメラ登録画面を開き、登録待ち受け状態にする。

操作について詳しくは、ライブビューリモコンの取扱説明書をご覧ください。

### 5 本機のWi-Fiボタンを長押しする。

本機から音が鳴り、リモコンの液晶モニターにカメラ画像が表示され、ライブビューリモコンのRECランプが青く点灯します。  
引き続き複数の本機を接続するには、手順3~5を繰り返します。

#### ① ご注意

- ライブビューリモコンの接続待ち受け状態が解除される前に本機の設定を行ってください。
- 複数の本機とライブビューリモコンの接続には、WPS方式を採用しています。本機の近くで別の機器がWPSを行っている場合、登録に失敗することがあります。その場合は、再度手順をやり直してください。

## スマートフォンと接続する

## スマートフォンにアプリをインストールする



#### Android OSの場合

Google playから、PlayMemories Mobile™を検索してインストールしてください。



- NFCワンタッチご使用の場合はAndroid 4.0以上が必要です。

#### iOSの場合

App Storeから、PlayMemories Mobileを検索してインストールしてください。



- NFCワンタッチはiOSではご使用できません。

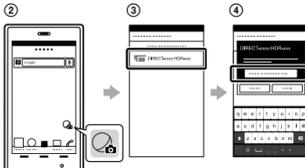
#### ① ご注意

- 既にインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
- 本書で説明しているWi-Fi機能は、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。
- アプリケーションの操作方法や、画面表示は将来のバージョンアップにより、予告なく変更することがあります。
- PlayMemories Mobileの詳細は、こちらをご覧ください。  
(http://www.sony.net/pmm/)

## 接続する

#### Androidの場合

- 本機の電源を入れ、Wi-Fi設定をシングル接続(初期状態)にする。
- スマートフォンでPlayMemories Mobileを起動する。
- スマートフォンでバッテリーカバーの裏に貼付されているシールのSSIDを選ぶ。
- スマートフォンでバッテリーカバーの裏に貼付されているシールのパスワードを入力する(初回のみ)。

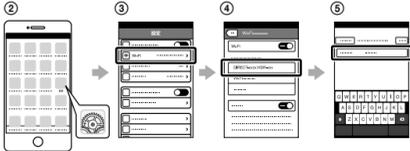


#### Android (NFC対応) の場合

本機のN(Nマーク)部分にスマートフォンのN(Nマーク)またはF(FeliCaプラットフォームマーク)部分をタッチする。PlayMemories Mobileが起動すれば、Wi-Fi接続まで自動で進みます。  
• 一部のおサイフケータイ対応のスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。

#### iPhoneの場合

- 本機の電源を入れ、Wi-Fi設定をシングル接続(初期状態)にする。
- スマートフォンの[設定]を起動する。
- スマートフォンで[Wi-Fi]を選ぶ。
- スマートフォンでバッテリーカバーの裏に貼付されているシールのSSIDを選ぶ。
- スマートフォンでバッテリーカバーの裏に貼付されているシールのパスワードを入力する(初回のみ)。
- スマートフォンに本機のSSIDが表示されていることを確認する。
- ホームに戻り、PlayMemories Mobileを起動する。



#### シール以外での確認方法

万一シールが剥がれたり読みにくくなってしまった場合は、以下の手順でIDとパスワードが確認できます。

- 充電されたバッテリーを本機に入れる。
- 本機とパソコンをマイクロUSBケーブル(付属)で接続する。
- ON/OFF(電源)ボタンを押して、電源ONにする。
- パソコンの画面で、[コンピュータ] → [PMHOME] → [INFO] → [WIFI\_INF.TXT]の順に表示させ、IDとパスワードを確認する。

## ライブストリーミングを行う

本機と、テザリング可能なスマートフォンあるいはWi-Fiルーターを使うことで、USTREAMなどの動画共有サイトに映像のライブ配信を行うことができます。詳しい操作方は、オンラインマニュアル「ヘルプガイド」の「カメラでライブストリーミングをする」をご覧ください。  
http://rd1.sony.net/help/cam/1410/ja/

## 使用上のご注意

### Wi-Fi機能について

- ご使用になる場所の規則に従ってお使いください。
- 水中ではWi-Fiはお使いいただけません。

### 動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約−5℃～+40℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所でのご使用はおすすめできません。

### 温度上昇についてのご注意

- ご使用中に本体およびバッテリーが熱くなりますが故障ではありません。
- 本体を直接手に持ったまま、あるいは直接素肌に触れたままの状態で長時間ご使用になることは避けてください。付属の接着マウントやウォータープルーフケース、または別売のマウントアクセサリーのご使用をおすすめします。
- 気温の高い場所では本機の温度上昇が速くなります。
- 本機の温度を充分下げするために、電源を切ったときは10分以上そのまま放置してください。
- 本機の温度が上昇すると、画質が低下場合があります。温度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。

### 温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、本機を保護するために自動的に動画撮影が停止したり、電源が切れることがあります。撮影が停止したり電源が切れる前には、本機のRECランプが点滅し、ライブビューリモコンにメッセージが表示されます。このような場合は、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び動画撮影が停止したり電源が切れることがあります。

### 防じん・防水性能について

- 同梱のウォータープルーフケース装着時は防じん、防水(水深5 m、連続30 分)仕様です。ウォータープルーフケースの使いかた、取り扱い上の注意については、アクセサリーのヘルプガイド (WEB) をご覧ください。

### 別売のアクセサリーについて

国や地域によっては発売されていないものもあります。

### ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティについて

- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

## 主な仕様

信号方式： デジタルハイビジョン方式

電源電圧： バッテリー端子入力:3.7 V (NP-BY1)
マルチ/マイクロUSB 端子入力: 5.0 V

USB 充電： DC 5.0 V、500 mA

防滴性能： IPX4相当 (当社試験条件による)

動作温度： − 5℃～ +40℃

保存温度： − 20℃～ +60℃

外形寸法 (約)：

24.2 mm × 36.0 mm × 74.0 mm (幅×高さ×奥行き、突起部を除く) (同梱ウォータープルーフケース含まず)

質量： 約48 g (本体のみ)

使用時総質量： 約63 g (バッテリー含む、同梱ウォータープルーフケース含まず)

- 本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

### 商標について

- メモリスティックおよび  は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
  - Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
  - iOSは、シスコの登録商標または商標です。
  - Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
  - Wi-Fi、Wi-Fi ロゴ、Wi-Fi PROTECTED SET-UPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
  - NマークはNFC Forum、Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
  - FeliCaプラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
  - 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTTドコモの登録商標です。
  - Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標または商標です。
  - microSDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、™、®マークを明記していない場合があります。

	<b>警告</b> <b>安全のために</b>	→表面もあわせてお読みください。
---	-------------------------	------------------

#### 警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

 **危険** この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

 **警告** この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

 **注意** この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

		
注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
 	 	
火災 感電	禁止 分解禁止	指示

#### 電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

	 	下記の注意事項を守らないと、 <b>火災、大けがや死亡</b> にいたる危害が発生することがあります。
---	---	---

#### 分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。

#### 内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。USB接続している場合は、USBケーブルを抜いて、相談窓口にご相談ください。

#### 運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、本機の操作は絶対おやめください。交通事故の原因となります。

#### 撮影時は周囲の状況に注意をばらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

#### 指定以外の方法で充電しない

火災やけがの原因となることがあります。

#### 機器本体や付属品、ウォータープルーフケース固定用ネジ、メモリーカードは乳幼児の手の届く場所に置かない

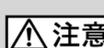
電池などの付属品などを飲み込み恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

#### ケーブル類を傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、ケーブル類を抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

#### 長時間、手に持ち続けて使用しない

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

	 	下記の注意事項を守らないと、 <b>けがや財産に損害</b> を与えることがあります。
---	---	---

**水滴のかかる場所など湿気が多い場所やほこり、油煙、湯気が多い場所では使わない**

火災や感電の原因になることがあります。

#### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

#### コード類は正しく配置する

接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

#### 充電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

#### 使用中は機器を布で覆ったりしない

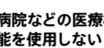
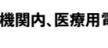
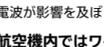
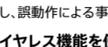
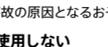
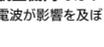
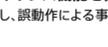
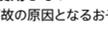
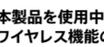
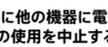
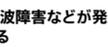
熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

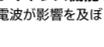
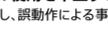
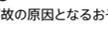
#### レンズに衝撃を与えない

レンズはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

#### メモリーカードをはずすときは、手をそえる

メモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

## ワイヤレス機能ご使用上の注意

#### 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

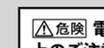
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

#### 航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

#### 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

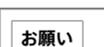
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

	<b>危険</b> <b>電池についての安全上のご注意とお願</b>	<b>漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災</b> などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。
---	------------------------------------	--

	<ul style="list-style-type: none"><li>バッテリーパックは指定された方法や、正規のバッテリーチャージャー以外で充電しない。</li> <li>電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。</li> <li>電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。</li> <li>電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。</li> <li>電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。</li></ul>		
---	---	---	---

	<ul style="list-style-type: none"><li>電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。</li> <li>バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。</li> <li>アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。</li> <li>外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。</li></ul>		
---	--	---	---

	<ul style="list-style-type: none"><li>電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り外しておく。</li></ul>		
---	---	---	---

	<p>リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部分にゼロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。</p> <p><b>充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については</b> 一般社団法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。</p>			リチウムイオン電池
---	---	---	---	-----------

### HDR-AZ1の機器認定について

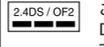
本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解/改造すること
- 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

### 周波数について

本製品は2.4GHz帯で使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

<b>この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項</b>
本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局 (免許を要する無線局) 等 (以下「他の無線局」と略す) が運用されています。 <p>1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。</p> <p>2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。</p> <p>3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書をご覧ください。</p>
 この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式として DSSS/OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は20m以下です。

#### 飛行機などに搭乗するときは

電源を切るか、Wi-Fiボタンを押して、Wi-Fi設定を「切」にしてください。無線に関連する機能を無効にすることができます。また、NFC対応のスマートフォンを本機に近づけないでください。

### ワイヤレスLANに関するご注意

- 紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本機のWi-Fi機能は日本での利用を前提としています。海外での使用はその国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

ACアダプターはお手近なコンセントをお使いください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電気を遮断してください。充電が完了してCHG (充電) ランプが消えても電源からは遮断されません。

## 保証書とアフターサービス

#### 保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

この製品は国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

### アフターサービス

#### 調子が悪いときはまずチェックを

本書の「使用上のご注意」などを参考にして故障かどうかお調べください。

#### それでも具合が悪いときは

相談窓口にお問い合わせください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

#### 部品の保有期間について

当社はデジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

#### 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

## お問い合わせ窓口のご案内

<b>製品の最新サポート情報</b> <b>(製品に関するQ&amp;A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど)</b> http://www.sony.jp/support/actioncam/	
<b>製品ホームページ</b> http://www.sony.jp/actioncam/	
製品の最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。	
http://www.sony.jp/support/	

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ..... <b>0120-333-020</b> .....	フリーダイヤル ..... <b>0120-222-330</b> .....
携帯・PHS・一部のIP電話 ..... <b>050-3754-9577</b> .....	携帯・PHS・一部のIP電話 ..... <b>050-3754-9599</b> .....
	※ 取扱説明書等の購入相談はこちらへお問い合わせください。
	<b>FAX(共通) 0120-333-389</b>



上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
<b>[405]+[#]</b> (本機や付属品)
<b>[404]+[#]</b> (ソフトウェア Action Cam Movie Creator)
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/